

11.9パーセントとなった。明るい雰囲気のある図書室は、生徒指導の機能も兼ねた第2の保健室と考え、家庭や教室に居場所のない児童が自由に行ける場所として考えている。
(教育次長)

Q 現在一人だが、増員は考えているか。

A 町として、図書室は重要であり今後も力を入れていく分野だと考えており、支援員の増員については、新年度に向け募集をかけ応募があれば各小学校への配置について検討したい。支援員を配置し効果は出ているが、県平均と比べまだ低い状況であるため、教育委員会にはもう少し頑張っていたただなくてはならないと考えている。また、支援員からの図書室に関する要求については、予算化していく。
(町長)



明るい雰囲気の図書室

議席4番

櫻井 実 議員



○防災・減災対策について

Q 災害対策活動のため町の災害応急対策に関する活動要領（マニュアル）は、どのように整備されているのか。

A 境町地域防災計画に基づき、初動対処マニュアルを策定している。今年度は、広域避難計画の策定、防災倉庫の設置を進めており、平成29年度には、一般財団法人地方自治研究機構との関東・東北豪雨災害時の共同調査事業を予定しており、今後の災害対応に活用できるようにマニュアルの改正にも努める。

(総務部長、参事兼防災安全課長)

Q ハザードマップに救護・支援物資等運搬確保のための緊急輸送道路を表記してはどうか。

A 県は、高速道路、国道、主要な幹線、防災基地、防災拠点病院などの拠点と市町村庁舎をつなぐ路線を緊急輸送道路に指定している。ハザードマップに冠水により通行できない箇所と通行可能な道路を表示しており、通行できない以上、緊急輸送道路と表示しても意味がない。

(総務部長)

○結婚支援対策について

Q 結婚支援の現況について。

A NPO法人ベル・サポートと連携しながら、国の地域活性化・地域住民生活等緊急支援交付金を活用した、婚活セミナー、出会いパーティー、婚活サポーター養成講座、独身男性を対象としたスキルアップセミナーなどを開催している。
(福祉部長)

Q 結婚支援事業で結婚に至った場合に結婚祝い金を贈ってはどうか。

A 結婚祝い金制度は、平成27年度全国25の自治体で実施されている。本町では、婚姻された新婚世帯に対して平成28年9月から「境

町結婚新生活支援事業」として18万円を限度に必要となる経費を補助している。次年度もこの制度を活用してゆく。
(福祉部長)

○子育て支援について

Q 子育て支援サポートとして「境町版ネウボラ」を導入してはどうか。

A 国の方針で平成32年までに地域の実情を踏まえながら「子育て世代包括支援センター」を拠点に「妊娠・出産、子育ての切れ目のない支援態勢の確立を目指す」。

(福祉部長)

Q 妊婦の通院等に「子育てタクシー」を導入してはどうか。

A 県内には、妊産婦の妊婦検診及び乳児健診、予防接種等で市内医療機関に市内のタクシーで通院等をする場合、タクシー料金の一部を助成する等独自のサービスを提供している自治体もあるが、効果の検証が必要と考える。

(福祉部長)